

この国はいつの かくて 作られる

「異論を口にしたヤツは許さぬ」 「落ちた犬は死ぬまで叩け」

なごです。ただ、同時に民主制は、ある種の問題を孕んでいる。そう語るのは、建物の哲学者の岸見一郎氏である。

「プラトンは、民主主義は他のどの体制よりも腐敗を招きやすい。その腐敗は技術でありその知識は習得されなければならないが、その知識を誰が持っているわけでもない。多岐にわたる善悪を選択しなければならない。そこで、感情的な陰謀に惑わされないための知能の必要性である。」「正義」である。だが「正義」であるならば、

「異論を口にしたヤツは許さぬ」「落ちた犬は死ぬまで叩け」

「正義」であるならば、

「異論を口にしたヤツは許さぬ」「落ちた犬は死ぬまで叩け」

間にか正義の人だらけに 世論は 作られる

「世論」は、誰かを決して動かすための、最高に効率的な道具である。その世論によって何が、いつかやってくるのか、決めるのは誰か。

「世論」は、誰かを決して動かすための、最高に効率的な道具である。その世論によって何が、いつかやってくるのか、決めるのは誰か。

「世論」は、誰かを決して動かすための、最高に効率的な道具である。その世論によって何が、いつかやってくるのか、決めるのは誰か。

「世論」は、誰かを決して動かすための、最高に効率的な道具である。その世論によって何が、いつかやってくるのか、決めるのは誰か。

「世論」は、誰かを決して動かすための、最高に効率的な道具である。その世論によって何が、いつかやってくるのか、決めるのは誰か。

「世論」は、誰かを決して動かすための、最高に効率的な道具である。その世論によって何が、いつかやってくるのか、決めるのは誰か。

「世論」は、誰かを決して動かすための、最高に効率的な道具である。その世論によって何が、いつかやってくるのか、決めるのは誰か。

「世論」は、誰かを決して動かすための、最高に効率的な道具である。その世論によって何が、いつかやってくるのか、決めるのは誰か。

「世論」は、誰かを決して動かすための、最高に効率的な道具である。その世論によって何が、いつかやってくるのか、決めるのは誰か。

擁護派でも推進派でもありません。ただ、多勢の同意者となって評論家で参加するのではなく、根拠と責任を持って発言できる大人になって下さい。今は男女同権の整備だとはずが、逆の不平等に走っているのが実情だ。何を第一に、何を最優先にするべきか、常々考えて行動しましょう。

二〇二一年二月二十七日三月六日合併号



「世論」は、誰かを決して動かすための、最高に効率的な道具である。その世論によって何が、いつかやってくるのか、決めるのは誰か。

このドキドキ...

なんだろう？

このドキドキ...

かくて世論は作られる

世論調査は操作できる

正義はとつげん牙を剥く

正義はとつげん牙を剥く

救心

救心製薬株式会社

救心

救心製薬株式会社

救心

救心製薬株式会社

救心

救心製薬株式会社

救心

救心製薬株式会社